

2025年3月28日

各位

株式会社三井住友銀行

光洋電機株式会社に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、光洋電機株式会社（代表取締役社長：木部 享）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋が見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、光洋電機株式会社については、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① LEDをはじめとする高効率照明器具の開発・販売、リサイクル促進による環境負荷低減

事業内容	メーカーと連携し、高効率LED照明の開発、普及を進めておられます。使用済み照明器具の回収、リサイクルを促進しており、顧客へのリサイクル情報の発信も行っておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題	廃棄物の削減や適切な処理
社会課題解決への貢献内容	蛍光灯の製造・輸出入は2027年までに段階的に廃止することが決定されていますが、その認知度は低く、貴社はLED照明を扱う企業として展示会等で積極的に周知を行っています。従来製品と変わらぬ性能で環境負荷低減を実現する高効率LED照明を提案し、LEDへの切り替えを進めておられます。長寿命の照明器具の提供に加え、使用済み照明器具の回収にも取組み、マテリアルリサイクルを推進しておられます。

（参考）社会課題概要

国内では年間約4千万tの一般廃棄物、約3億8千万tの産業廃棄物が排出されていますが（2022年度）、廃棄物処理施設の老朽化や、地域の人口減少・高齢化に伴う担い手不足により、持続可能な廃棄物処理体制の構築が課題となっています。一方、日本の一般廃棄物リサイクル率は19.6%であり（2022年度）、計算方法の違いを差し引いても欧州各国より低い状況です。またリサイクル率は10年以上伸び悩んでいます。

② 風通しの良い職場環境の整備を通じた働きがい向上への貢献

事業内容	全従業員に対し年3回の面談を実施し、職場環境へのニーズをヒアリングしておられます。また、従業員やその家族の健康増進のため、ワクチン接種の補助など、安全で健康的な職場づくりをさ
------	---

	れています。
当該事業を通じて 解決を目指す 社会課題	職場におけるメンタルヘルスの改善
社会課題解決 への貢献内容	従業員から要望を聞き入れ、職場環境や制度の整備を行っておられます。その結果、業務の効率化につながり、業務時間の短縮や有給取得率の向上につながっています。働きやすさを感じる従業員が増え、ワークライフバランスの向上や職場におけるメンタルヘルスの改善に貢献しておられます。

(参考) 社会課題概要

厚生労働省の調査によると、2022年には13.3%の事業所で、メンタルヘルス不調により1か月以上休業・退職した労働者がいて、半数以上の労働者が、仕事や職業生活に強いストレスを感じていました。一方で、テレワークの普及により職場でのストレス要因は変化し、職場内のコミュニケーションも従来通りにはいかなくなりました。既存のメンタルヘルス対策の体制・制度を、新たな視点で見直す必要が生じています。

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

以 上